



令和6年4月20日

武南高等学校進路通信 第1号

進路指導部

入試に向けて本格的に準備をしていく学年となりました。日々着実に学習に励み、各大学のホームページなど逐一参照し、最新の大学入試情報（2025年度入試）を具体的に得ておくことが必須です。大学受験を種類別に概要や流れの確認をお願いいたします。この1年間の主な流れをイメージしておくことが必要となります。いずれにせよ1学期は基礎学力強化に重点をおくことがとても大切です。

☆一般選抜の主な流れ

併願大学のスケジュールを調べ、計画的に出願校を決めましょう。願書は各自で取り寄せます。

国公立大

私立大

9月

各大学が2025年度入試要項の正式発表（HPなど）

共通テスト出願（学校で一括出願）

一般選抜出願に向けた生徒・保護者説明会

11月

入試スケジュール作成

12月

「募集要項・願書」を個人で請求・入手

「調査書」の申し込み（武南高校事務室にて）→事前に指示があります

出願開始

共通テスト利用出願は基本的に共通テスト前

1月

大学入学共通テスト（1/18、19）

自己採点をもとに国公立出願検討

出願開始（1月27日～2月5日）

個別入試開始（1月末から2月中旬頃まで）

2月

前期試験（2/25～）

合格発表（試験の1～2週間程度後）

※合格発表・入学手続き・延納手続きの

日程も大学によって異なるので、事前

に十分な確認が必要です。

3月

前期合格発表（3/6～）

後期試験開始（3/12～）

後期合格発表（3/20～）

☆国公立出願は共通テスト後ですが、得点率によって

どこに出願するか事前にシミュレーションしておきましょう。

☆総合型選抜の主な流れ

(自己推薦やスポーツ推薦などの学校長推薦を除くものを含む)

5月～7月 各大学が**2025年度入試要項を公表**(大学HPなど)

9月上旬 **出願開始(9月1日以降)** その後、**試験・選考**

11月 **合格発表(11月1日以降)**

注意

☆総合型選抜の「エントリー」や「出願」をする際は、必ず事前に(エントリー・出願の1週間前頃までに)「総合型選抜受験申込書」を担任へ提出してください。

☆「専願制入試」なのか「併願制入試」なのかの確認が必要です。

専願制入試…「合格したら必ず入学する」という意味です。したがって、複数の大学で専願入試を同時期に出願することはできません。正式な募集要項で確認が必要です。

☆学校推薦型選抜「公募推薦」の主な流れ

5月～7月 各大学が**2025年度入試要項を公表**(大学HPなど)

11月 **出願開始(11月1日以降)** その後、**試験・選考**

12月 **合格発表(12月1日以降)**

注意

☆公募推薦の出願をする際は、必ず事前に(出願する1週間ほど前までに)担任に

「公募推薦受験申込書」「公募推薦チェックシート」を提出してください。

その後、本校より出願許可がおり次第、出願してください。

☆基本的に「専願制入試」です。当然ながら第1希望が前提となります。

☆指定校推薦と異なり全国共通の出願枠・出願基準。国公立は校内で人数枠があることがあります。

☆学校推薦型選抜「指定校推薦」の主な流れ

6月～8月 指定校推薦の大学の一覧・出願条件が公表されます。

☆希望先の推薦規定（評定、その他条件）および武南高校内の推薦規定を確認してください。

9月

指定校推薦(1次)校内エントリー締め切り(9月上旬)

→「指定校推薦申込書(志望理由を書いたもの)」「指定校推薦基準チェックシート」
を担任に提出

校内選考(9月中旬)

共通テスト一括出願

内定者に願書配付(9月下旬)

指定校推薦(2次)校内エントリー締め切り(9月下旬)

校内選考(9月下旬)

内定者に願書配付(10月上旬)

その後、3次(10月上旬)

11月

出願開始(11月1日以降)

その後、**試験、選考**

12月

合格発表(12月1日以降)

1月

共通テストの受験(推薦規定参照)

各大学が課す課題への取り組み・その他入学に向けた準備

→入学後の学力維持と向上に向けて

注意

☆校内エントリーの際、期日までに「指定校推薦申込書(志望理由を含む)」「指定校推薦基準チェックシート」を担任に提出してください。期日は後日連絡します。

☆指定校推薦は専願入試なので合格したら必ず入学することが条件です。

☆校内内定がとれれば、ある程度保証された状態で受験できるメリットの反面、枠や条件に影響される入試です。昨年と同様の大学から同じ条件でくる保証はありません。

→はじめから「指定校ねらい」は危険です！

☆校内選考では、評定だけでなく、学校生活の状況、3年1学期の模試や、実力考査、志望理由の具体性などを「総合的に」考慮し、選考していきます。

☆年内入試（総合型や推薦型）を複数受験する際の注意

※年内入試は、小論文・プレゼンテーション・面接・学科試験など、その大学独自の準備や練習にとっても大きな時間と労力を要します。やみくもに複数受験することはおすすめできません。

※複数受験する際、「専願制入試」などのルールがありますので、十分な確認が必要です。以下に、例を載せますので参考にしてください。

例

専願入試を並行して複数受験することはできません。

下記の日程はあくまで例です。

例 1 : A 大学公募推薦（専願）	11/ 4	出願締め切り	11/10	試験	12/1	発表
B 大学総合型（専願）	11/11	出願締め切り	11/20	試験	12/1	発表

→A大学の試験を受けたら、B大学の受験はできません。

例 2 : C 大学指定校（専願）	9/14	校内申し込み	9/27	校内選考結果発表	11/1	出願
D 大学総合型（専願）	9/7	出願	9/15	試験	11/1	発表

→C大学の校内申し込みをした時点でD大学の受験はできません。

例 3 : E 大学指定校（専願）	9/14	校内申し込み	9/27	校内選考結果発表	11/1	出願
F 大学総合型（専願）	9/13	出願	9/28	試験	11/1	発表

→E大学の校内選考で否となった場合のみF大学の試験を受けられます。

したがって、もしE大学の校内選考で合となった場合、F大学の試験を「欠席」せざるを得ません。

ただし、専願入試での当日欠席は、入試の性質上できるだけ避けるよう出願スケジュールを考えてください。

☆面接・小論文指導について（詳しくは6月上旬にお知らせします）

試験で面接や小論文などが必要な場合、「面接・小論文指導申込書」を提出すると、個別で担当の教員が割り振られ、面接や小論文の具体的な指導が行われます。この申込書に、入試の形態、そして過去どのような問題が出されているかを具体的に書いてもらいます。過去問は各大学のHPに記載のある場合もありますが、進路指導室に先輩が残してくれた受験体験がファイルされています。